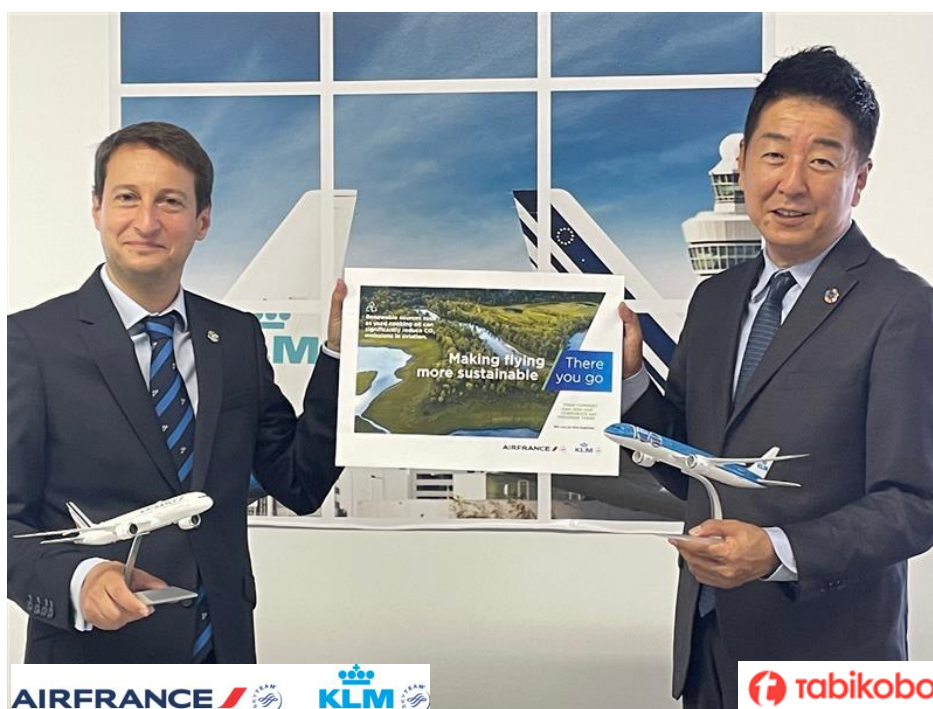


報道関係者各位
共同リリース

2021 年 10 月 26 日
株式会社旅工房（コード番号：6548 東証マザーズ）
エールフランス航空／KLM オランダ航空会社

エールフランス KLM と旅工房、「SAF プログラム」の協力提携に合意 旅工房 旅行会社としてアジア初のパートナーへ 持続可能な航行に貢献 年内に推定 36.3 トンの CO2 排出量削減を目指す

株式会社旅工房（東京都豊島区、代表取締役会長兼社長：高山 泰仁、以下「旅工房」）と、エールフランス航空／KLM オランダ航空会社（東京都港区、日本・韓国・ニューカレドニア支社長ギヨーム・グラス、以下「エールフランス KLM」）は、旅行会社でアジア初となる、エールフランス KLM の「SAF プログラム」（SAF：Sustainable Aviation Fuel／持続可能な航空燃料、以下「SAF」）での協力提携に合意しました。



2 社による協力提携により、旅工房は 2021 年内*に、従来の燃料使用時の排出量と比べ推定 36.3 トンの CO2 排出量を削減し、持続可能な航行輸送に貢献します。

また、共同で環境に配慮したツアーの企画も進めております。

*CO2 削減達成値は、契約終了時に算定され認定機関による監査を受けて発表されます。

旅工房とエールフランス KLM は、今後も堅密に連携・協力し、航空業界全体の CO2 排出量削減に努め、持続可能な空の旅を目指すパイオニアの一員として世界中で SAF の普及を目指します。

■協力提携の内容

旅工房はエールフランス KLM 会社の持続可能な開発目標を支援します。

- (1) 航空の持続可能な発展への貢献
- (2) 先進的な持続可能な航空燃料の市場の発展の促進
- (3) 航空のカーボンフットプリントの最小化

■協力提携合意の背景

現在、民間航空会社で使用されている約3億トンのジェット燃料のうち、SAFは0.1%にもおおよぼず、航空をより持続可能なものにするためには、SAFの利用と生産の拡大が必要です。

かねてよりエールフランス KLM はCO2 排出量の削減対策を進め、「SAF 市場の認知度向上」「SAF の需要と利用の促進」「SAF 生産の最適化」に取組み、次世代の航空輸送の実現に貢献してまいりました。

一方旅工房は、「国際交流の発展及び世界平和に貢献することと同時に、全従業員及び関係者の物心両面の充足と幸福を追求する」を経営理念に掲げ、CSR 活動を積極的に推進しており、エールフランス KLM の航空輸送を持続可能な産業として継続することを目指す環境削減事業に賛同し、協力提携の合意に至りました。

旅工房は、今後の海外旅行の需要回復を見据え、持続可能な航行への取組みとして、日本国内の旅行会社で初となる SAF パートナーに参画。SAF の普及を目指す『世界のリーディングカンパニー』を目指します。

■エールフランス KLM の SAF の取組み

エールフランス KLM は SAF 利用のパイオニアとして長年、代替燃料分野の研究開発に携わってきました。2011 年以来、エールフランス航空と KLM オランダ航空は、持続可能な航空燃料を搭載した商業航行を業界に先駆けて実現し、化石燃料に代わるエネルギーの実用化が可能であることを実証しています。

SAF は廃油、廃棄物、森林残留物などを原料とし、エンジンの仕様変更をすることなく既存のジェット燃料と混合利用ができ、従来の燃料に比べて CO2 排出量を最大で 85%抑制する効果が見込まれます。

エールフランス KLM 日本・韓国・ニューカレドニア支社長ギヨーム・グラス コメント



エールフランス KLM は、航空輸送の脱炭素化に向けて産業間の連携を図っています。航空会社と旅行会社が共同で SAF の拡大を目指すエールフランス KLM の取り組みに、旅工房は日本で初めてご参画いただくことになりました。

旅工房と協力してサステナブルなパッケージ旅行の企画を進め、お客様の環境への関心にお応えするヨーロッパ旅行をご提供します。

旅工房 代表取締役会長兼社長 高山 泰仁 コメント



わが国が目指す観光立国としての認知や世界的な国際往来の拡大により、これまで以上に環境に配慮した取り組みが求められています。

こうした状況の中で当社では、一旅行会社として SDGs や環境問題に対して具体的な取り組みをしたいと考えていました。

海外旅行は航空機での移動が多いことから、エールフランス KLM の取り組みに強く賛同すると共に、両社が連携し環境問題に取り組むことで、明るい未来を創ることができると確信しています。

■会社概要

【株式会社 旅工房】

旅工房は国内・海外の旅行を取り扱う旅行会社です。

各地域の専門知識をもったトラベル・コンシェルジュが“お客様が本当に求めている旅”をご提案いたします。

ホテルの分泊や異なる出発地からの旅行など、ご希望に沿ったオーダーメイドの旅行を作ることができることも特徴です。

旅工房は「今よりもっと、旅が好きになる。」をコンセプトに、常に新たな挑戦を続け、お客様の願いを叶えていきます。

代表者：代表取締役会長兼社長 高山 泰仁

所在地：東京都豊島区東池袋 3-1-1 サンシャイン 60 46 階

設立：1994 年 4 月 18 日

URL：<https://www.tabikobo.com/>

【エールフランス航空／KLM オランダ航空会社】

欧州に拠点を持つグローバルプレーヤーであるエールフランス KLM グループは、旅客輸送・貨物輸送・航空メンテナンスを主な事業とし、持続可能な開発の業界リーダーとして 15 年間認められ、より持続可能な航空への移行を加速することを決意しています。

2003 年より、国連グローバル・コンパクトのメンバーとして持続可能な開発目標に大きく貢献しています。

日本における代表者：日本・韓国・ニューカレドニア支社長 ギヨーム・グラス

所在地：東京都港区赤坂 2-14-32 赤坂 2・14 プラザビル 6 階

<本件に関するお問い合わせ>

<p>株式会社旅工房 担当：間野 深津 水島 TEL：03-5956-3051 E-mail：s.pr@tabikobo.com</p>	<p>旅工房 広報事務局 担当：佐久間（携帯：090-8106-9283） 杉村（携帯：070-1389-0175） TEL:03-5411-0066 FAX:03-3401-7788 E-mail：pr@netamoto.co.jp</p>
<p>エールフランス航空／KLMオランダ航空会社 広報担当：鷺見 聡子（すみ さとこ） TEL：03-5797-8525 FAX：03-3583-7011 E-mail：SATOKO.SUMI@KLM.COM</p>	

※本リリースは、旅工房、エールフランス KLM の共同リリースです。各社から重複して配信される場合がございますが、ご了承いただけますようお願いいたします。